

連結貸借対照表

(平成31年3月31日現在)

自治体名:毛呂山町

会計:全体会計

(単位:千円)

科目名	金額	科目名	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	42,724,556	固定負債	14,516,082
有形固定資産	41,280,314	地方債等	10,798,374
事業用資産	15,668,855	長期未払金	-
土地	7,126,953	退職手当引当金	1,519,346
土地減損損失累計額	-	損失補償等引当金	-
立木竹	517	その他	2,198,362
立木竹減損損失累計額	-	流動負債	1,517,339
建物	18,572,836	1年内償還予定地方債等	1,034,331
建物減価償却累計額	-11,808,593	未払金	122,395
建物減損損失累計額	-	未払費用	-
工作物	3,921,524	前受金	-
工作物減価償却累計額	-2,146,804	前受収益	-
工作物減損損失累計額	-	賞与等引当金	134,165
船舶	-	預り金	222,497
船舶減価償却累計額	-	その他	3,950
船舶減損損失累計額	-	負債合計	16,033,421
浮標等	-	【純資産の部】	
浮標等減価償却累計額	-	固定資産等形成分	43,318,460
浮標等減損損失累計額	-	余剰分(不足分)	-14,503,307
航空機	-	他団体出資等分	-
航空機減価償却累計額	-		
航空機減損損失累計額	-		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
その他減損損失累計額	-		
建設仮勘定	2,422		
インフラ資産	25,029,723		
土地	1,620,066		
土地減損損失累計額	-		
建物	1,870,424		
建物減価償却累計額	-1,109,302		
建物減損損失累計額	-		
工作物	46,975,049		
工作物減価償却累計額	-24,443,306		
工作物減損損失累計額	-		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
その他減損損失累計額	-		
建設仮勘定	116,792		
物品	3,087,396		
物品減価償却累計額	-2,505,660		
物品減損損失累計額	-		
無形固定資産	81,037		
ソフトウェア	67,288		
その他	13,748		
投資その他の資産	1,363,205		
投資及び出資金	103,626		
有価証券	10,000		
出資金	93,626		
その他	-		
長期延滞債権	287,369		
長期貸付金	-		
基金	1,025,327		
減価基金	-		
その他	1,025,327		
その他	-		
徴収不能引当金	-53,117		
流動資産	2,124,018		
現金預金	1,356,914		
未収金	174,713		
短期貸付金	-		
基金	593,904		
財政調整基金	593,904		
減価基金	-		
棚卸資産	19,282		
その他	182		
徴収不能引当金	-20,978		
繰延資産	-	純資産合計	28,815,153
資産合計	44,848,573	負債及び純資産合計	44,848,573

連結行政コスト計算書

自 平成30年4月1日
至 平成31年3月31日

自治体名:毛呂山町

会計:全体会計

(単位:千円)

科目名	金額
経常費用	16,099,861
業務費用	5,472,468
人件費	1,999,418
職員給与費	1,529,819
賞与等引当金繰入額	133,097
退職手当引当金繰入額	-
その他	336,502
物件費等	3,225,351
物件費	1,534,182
維持補修費	52,285
減価償却費	1,638,884
その他	-
その他の業務費用	247,700
支払利息	86,863
徴収不能引当金繰入額	36,884
その他	123,952
移転費用	10,627,392
補助金等	9,338,608
社会保障給付	1,267,619
その他	21,165
経常収益	890,844
使用料及び手数料	676,313
その他	214,531
純経常行政コスト	15,209,017
臨時損失	175
災害復旧事業費	-
資産除売却損	122
損失補償等引当金繰入額	-
その他	53
臨時利益	1,003
資産売却益	1,003
その他	-
純行政コスト	15,208,189

連結純資産変動計算書

自 平成30年4月1日

至 平成31年3月31日

自治体名:毛呂山町

会計:全体会計

(単位:千円)

科目名	合計	固定資産等形成分	余剰分(不足分)	他団体出資等分
前年度末純資産残高	29,670,664	44,491,210	-14,820,545	-
純行政コスト(△)	-15,208,189		-15,208,189	-
財源	14,352,677		14,352,677	-
税収等	8,767,702		8,767,702	-
国県等補助金	5,584,975		5,584,975	-
本年度差額	-855,512		-855,512	-
固定資産等の変動(内部変動)		-1,172,750	1,172,750	
有形固定資産等の増加		945,679	-945,679	
有形固定資産等の減少		-1,863,067	1,863,067	
貸付金・基金等の増加		688,463	-688,463	
貸付金・基金等の減少		-943,824	943,824	
資産評価差額	-	-		
無償所管換等	-	-		
他団体出資等分の増加			-	-
他団体出資等分の減少			-	-
比例連結割合変更に伴う差額	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
本年度純資産変動額	-855,512	-1,172,750	317,238	-
本年度末純資産残高	28,815,153	43,318,460	-14,503,307	-

連結資金収支計算書

自 平成30年4月1日
至 平成31年3月31日

自治体名:毛呂山町

会計:全体会計

(単位:千円)

科目名	金額
【業務活動収支】	
業務支出	14,419,289
業務費用支出	3,791,897
人件費支出	1,991,793
物件費等支出	1,629,918
支払利息支出	86,863
その他の支出	83,321
移転費用支出	10,627,392
補助金等支出	9,338,608
社会保障給付支出	1,267,619
その他の支出	21,165
業務収入	15,100,771
税収等収入	8,720,054
国県等補助金収入	5,571,907
使用料及び手数料収入	674,553
その他の収入	134,257
臨時支出	53
災害復旧事業費支出	-
その他の支出	53
臨時収入	-
業務活動収支	681,429
【投資活動収支】	
投資活動支出	1,126,270
公共施設等整備費支出	708,780
基金積立金支出	384,990
投資及び出資金支出	-
貸付金支出	32,500
その他の支出	-
投資活動収入	644,340
国県等補助金収入	27,614
基金取崩収入	583,223
貸付金元金回収収入	32,500
資産売却収入	1,003
その他の収入	-
投資活動収支	-481,930
【財務活動収支】	
財務活動支出	987,108
地方債等償還支出	985,140
その他の支出	1,968
財務活動収入	694,209
地方債等発行収入	694,209
その他の収入	-
財務活動収支	-292,899
本年度資金収支額	-93,399
前年度末資金残高	1,228,786
比例連結割合変更に伴う差額	-
本年度末資金残高	1,135,387
前年度末歳計外現金残高	228,601
本年度歳計外現金増減額	-7,074
本年度末歳計外現金残高	221,527
本年度末現金預金残高	1,356,914

全体会計財務書類における注記

1 重要な会計方針

(1) 有形固定資産及び無形固定資産の評価基準及び評価方法

① 有形固定資産……………取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

ア 昭和 59 年度以前に取得したもの……………再調達原価

ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額 1 円としています。

イ 昭和 60 年度以後に取得したもの

取得原価が判明しているもの……………取得原価

取得原価が不明なもの……………再調達原価

ただし、取得原価が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額 1 円としています。

② 無形固定資産……………取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

取得原価が判明しているもの……………取得原価

取得原価が不明なもの……………再調達原価

(2) 有価証券及び出資金の評価基準及び評価方法

① 出資金

ア 市場価格のあるもの……………会計年度末における市場価格

(売却原価は移動平均法により算定)

イ 市場価格のないもの……………出資金額

(3) 有形固定資産等の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法

なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

建物 8 年～ 50 年

工作物 5 年～ 60 年

物品 3 年～ 20 年

② 無形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法

(ソフトウェアについては、当町における見込利用期間（5 年）に基づく定額法によっ
ています。)

③ 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産（リース期間が 1 年以内の リース取引及びリース契約 1 件あたりのリース料総額が 300 万円以下のファイナン

ス・リース取引を除きます。)

……………自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法

(4) 引当金の計上基準及び算定方法

① 徴収不能引当金

未収金については、過去 5 年間の平均不納欠損率により（又は個別に改修可能性を検討し）、徴収不能見込額を計上しています。

長期延滞債権については、過去 5 年間の平均不納欠損率により（又は個別に改修可能性を検討し）、徴収不能見込額を計上しています。

② 退職手当引当金

退職手当債務から組合への加入時以降の負担金の累計額から既に職員に対し退職手当として支給された額の総額を控除した額に、組合における積立金額の運用益のうち毛呂山町へ按分される額を加算した額を控除した額を計上しています。

③ 賞与等引当金

翌年度 6 月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

(5) 資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）及び現金同等物（毛呂山町資金管理方針において、歳計現金等の保管方法として規定した預金等をいいます。）

なお、現金及び現金同等物には、出納整理期間における取引により発生する資金の受払いを含んでいます。

(6) その他財務書類作成のための基本となる重要な事項

① 物品及びソフトウェアの計上基準

物品については、取得価額又は見積価格が 50 万円（美術品は 300 万円）以上の場合に資産として計上しています。

ソフトウェアについても物品の取扱いに準じています。

② 資本的支出と修繕費の区分基準

資本的支出と修繕費の区分基準については、金額が 50 万円未満であるときに修繕費として処理しています。

2 追加情報

(1) 財務書類の内容を理解するために必要と認められる事項

① 全体会計財務書類の対象範囲は次のとおりです。

一般会計
国民健康保険特別会計
介護保険特別会計
後期高齢者医療特別会計
農業集落排水事業特別会計
毛呂山町水道事業会計

② 地方自治法第 235 条の 5 に基づき出納整理期間が設けられている会計においては、出納整理期間における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

③ 千円未満を四捨五入して表示しているため、合計金額が一致しない場合があります。

④ 地方公共団体の財政の健全化に関する法律における健全化判断比率の状況は、次のとおりです。

実質赤字比率	—
連結実質赤字比率	—
実質公債費比率	6.7 %
将来負担比率	48.3 %

⑤ 利子補給等に係る債務負担行為の翌年度以降の支出予定額 712.5 百万円

⑥ 繰越事業に係る将来の支出予定額 105.4 百万円

(2) 貸借対照表に係る事項

① 地方交付税措置のある地方債のうち、将来の普通交付税の算定基礎である基準財政需要額に含まれることが見込まれる金額 9,954 百万円

② 地方公共団体の財政の健全化に関する法律における将来負担比率の算定要素は、次のとおりです。

標準財政規模	6,660 百万円
元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額	9,954 百万円
将来負担額	15,459 百万円
充当可能基金額	1,617 百万円
特定財源見込額	1,038 百万円
地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額	7,445 百万円

(3) 純資産変動計算書に係る事項

純資産における固定資産等形成分及び余剰分（不足分）の内容

① 固定資産等形成分

固定資産の額に流動資産における短期貸付金及び基金等を加えた額を計上しています。

② 余剰分（不足分）

純資産合計額のうち、固定資産等形成分を差し引いた金額を計上しています。

(4) 資金収支計算書に係る事項

① 資金収支計算書の業務活動収支と純資産変動計算書の本年度差額の内訳

資金収支計算書

業務活動収支	681.4 百万円
投資活動収入の国県等補助金収入	27.6 百万円
未収債権、未払債務等の増加（減少）	243.5 百万円
減価償却費	△1,638.9 百万円
賞与等引当金繰入額	△133.1 百万円
徴収不能引当金繰入額	△36.9 百万円
資産除売却損	△0.1 百万円
資産売却益	1.0 百万円
<u>純資産変動計算書の本年度差額</u>	<u>△855.5 百万円</u>